

平成22年8月相模原市教育委員会定例会

○日 時 平成22年8月23日（月曜日）午後2時00分から午後2時23分まで

○場 所 相模原市役所 教育委員会室

○日 程

1. 開 会

2. 会議録署名委員の決定

3. 議 事

日程第 1（議案第33号） 平成22年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算
の補正について（教育局）

日程第 2（議案第34号） 相模原市立図書館協議会委員の人事について（生涯学習
部）

日程第 3（議案第35号） 相模原市立博物館協議会委員の人事について（生涯学習
部）

4. 閉 会

○出席委員（5名）

委 員 長 溝 口 碩 矩

委員長職務代理者 小 林 政 美

教 育 長 岡 本 実

委 員 金 川 純 子

委 員 斎 藤 文

○説明のために出席した者

教 育 局 長 三 沢 賢 一 教 育 環 境 部 長 村 上 博 由

学 校 教 育 部 長 小 泉 和 義 生 涯 学 習 部 長 大 貫 英 明

教 育 局 参 事 林 孝 教 育 総 務 室 田 中 雅 幸
兼 教 育 総 務 室 長 担 当 課 長

教 育 局 参 事 鈴 木 康 仁 総 合 学 習 セ ン タ ー 久 保 孝 之
兼 総 合 学 習 セ ン タ ー 所 長 担 当 課 長

図 書 館 長 成 瀬 正 行 博 物 館 長 井 上 明 夫

○事務局職員出席者

教育総務室主査 坂 本 正 俊 教育総務室主任 田 所 耕 祐

□開 会

◎溝口委員長 それでは、ただいまから相模原市教育委員会8月定例会を開会いたします。

本日の出席委員は5名で定足数に達しております。

本日の会議録署名委員に、私、溝口と斎藤委員を指名いたします。

なお、開会時におきます本日の傍聴人は1名でございます。

どうぞ、お入りいただいて結構です。

(傍聴人入場)

□平成22年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正について

◎溝口委員長 それでは、議事日程に基づき、これより日程に入ります。

日程1、議案第33号、平成22年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○大貫生涯学習部長 議案第33号につきまして、ご説明申し上げます。

本議案は、平成22年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、相模原市長から意見を求められたため、これに同意いたしたく提案するものでございます。

平成22年度相模原市一般会計特別会計補正予算書及び予算に関する説明書の3ページをご覧くださいと存じます。

初めに、9月補正予算の全体の概要でございますが、歳入歳出予算の総額2,340億円に、歳入歳出それぞれ2億400万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2,342億400万円とするものでございます。

12ページをご覧くださいと存じます。

下段の「款50 教育費」の補正ですが、8,930万円の増額で、補正予算全体に占める割合は43.8パーセントでございます。

また、補正後の一般会計予算全体に占める教育費の割合は、補正前と同様7.9パーセントでございます。

続きまして、教育委員会の所掌にかかわる補正予算の内容について、ご説明申し上げます。

す。

30ページをご覧いただきたいと存じます。

下段の「款50 教育費」「項10 小学校費」「目5 学校管理費」でございますが、説明欄1の「学校情報教育推進事業」につきましては、確かな学力の育成に係る実践的調査研究として、新学習指導要領の円滑な実施に向けた情報技術を活用した小学校英語教材の開発を行うもので、特定財源として国庫支出金を見込むものでございます。

32ページをご覧いただきたいと存じます。

下段の「項20 社会教育費」「目45 博物館費」でございますが、説明欄1の「施設運営費」につきましては、展示・教育普及事業として、7,440万円を見込むものでございます。財源としては、諸収入7,350万円を見込むものでございます。

以上、ご説明申し上げました。

◎溝口委員長 ただいま、説明が終わりました。これより質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

◎金川委員 今の説明にありました学校情報教育推進事業で、円滑な授業をするために開発するということでしたが、もう少し詳しい内容を教えていただければと思います。

○鈴木総合学習センター所長 この事業でございますが、昨年度末に全小中学校に導入いたしました校内LAN及び大型テレビを効果的に活用して、児童・生徒の興味・関心を高めたり、学習の基礎基本を定着させたりするための教材作成ソフトを開発するものでございます。

具体的に申し上げますと、例えば小学校の英語活動の授業で、リンゴの写真をテレビで提示する場合、そのままを提示するのではなくて、例えばその写真を25分割にしまして、クイズにアタックチャンスとかありますけれども、全部裏返しにして、それを1枚1枚、子どもたちと一緒にあけながらリンゴだということをやっていきます。それを英語で何番をあけますかとか、子どもたちが何番をあけてほしいとかというふうにしていくと、児童の興味・関心が高まって、クラスが一体感を持って授業を進められるだろうというふうに考えております。さらに、その番号を色や果物、動物等に変えていきますと、それを英語で先生とコミュニケーションを図ることができますので、自然と慣れ親しむことができるだろうというふうに考えております。

このソフトは写真だけではなくて、動画や音声も取り入れることができますので、いろいろな教科で効果的に活用ができるのではないかというふうに考えております。

◎溝口委員長 金川委員、よろしいですか。

◎金川委員 通常の相場というのがわからないのですけれども、そのソフト開発に1,400万円くらいかかるというのは、どれくらいのものなのですか。安い方とか、高い方とか。一般の主婦からすると、とても高く感じるのですけれども。

◎久保総合学習センター担当課長 非常に高額であることは確かでございますけれども、業者からは開発の部分からやっていると、かなり金額はかかるというふうに聞いています。国の方で、今回、枠が決まっておりますので、この中で開発することとなっております。

◎金川委員 今、一般の人がちょっと工夫すれば、簡単なソフトはすぐに、民間というか、自分たちでもつくれてしまったりしますよね。ですから、できあがってきたものが、やっぱり一般の人がつくれてしまうようなソフトで、1,400万円もとられてしまう、という言い方はいけないのですけれども、すごく心配していますので、よくチェックしていただいて、子どもたちの学習に有効に役立つような、他にはないようなすばらしいソフトになるといいなと思っています。

◎鈴木総合学習センター所長 ちょっとつけ加えさせていただきますけれども、文部科学省が英語活動の導入に当たりまして、今、その資料が非常に重要だということで、既存の似たものもあると思うのですが、文部科学省がつくって、そこで著作権を持って、全国の小学校に配付をするのではないかなと思っています。ですから、このソフトの開発は本市が行いますけれども、子どもたちの実態、それから、先生方の意見を取り入れたものがつくられて、そして、これがいいものであるとなると、文部科学省が持っている著作権を利用して、全国に配付されるのではないかなと思っています。ですから、もし企業から既成のソフトを買って全国になると、さらに大きな金額が動くと思うので、そういう意味では、この1,400万円というのはそんなに高くないのではないかなというふうに思っています。

◎斎藤委員 今のお話を伺いますと、既成のソフトではなく、コンテンツとセットで開発していくということをお考えのようですけれども、それにはもちろん教育のプロと、それから、技術的なプロと、その両方を知った人員で開発されていくのだと思うのですけれども、こういった体制で、この企画運営ですか、設計を進められる予定なのか、ちょっと教えてくださいいただけますか。

◎久保総合学習センター担当課長 この企画運営は、まずもちろん我々、教育の方の人間、それから、実際の学校現場の先生方も入りますが、そこに有識者ということで大学教授関

係の方に入っていただきまして、そちらの方からも情報教育に詳しい方がいろいろアドバイスをいただけると。さらに、文部科学省の方でも、担当の調査官等の方から、我々もというような意見が出ておりますので、そういった体制で開発をしていくようになると思います。ということで、現場の方からの声も実際に入りますし、有識者という方でいわゆる広い見識の中でのご意見も反映できると。そのような形での会議でソフトがつくられていく形になると思います。

◎齋藤委員 情報教育だけではなくて、これは英語教育が中心ですね。そうしますと、いわゆる小学校への英語教育というのは、また新しい分野だと思うのですが、今の現場の先生方はそういう世代ではございませんので、小学校における英語教育のあり方みたいなことの専門家の方はどなたかいらっしゃるのですか。

○久保総合学習センター担当課長 学校教育課の英語の担当の指導主事も入らせていただきます。それから、オブザーバーということで、文部科学省の教科調査官の方が英語の担当という方ですので、実際に具体的な話はされていかれるかと思えます。

◎齋藤委員 先ほど金川委員がおっしゃっていましたが、せっかく多額の予算がつきますので、何かすごくユニークな新しい知恵でいいものを開発していただきたいと思えます。やっぱり小学生に対する英語教育って難しいなと思えますので、ぜひ期待しております。

◎溝口委員長 では、その点はよろしく願いいたします。

◎小林委員 基本的なことなのですが、この事業が国庫支出金を財源として、この9月補正に出てきた背景について、まず1点。これがちょっとわからないのです。そして、この事業の延長線上には、本市の教育の中にどんなふうに展開されていくのかと。その2点をお願いいたします。

○久保総合学習センター担当課長 まず背景としましては、文部科学省の方から、このたび、確かな学力の育成に係る実践的調査研究ということで公募がございました。この公募の方が8月の頭に出まして、実は明日の24日が公募の申し込みの締め切りという形になっています。昨年度入れたデジタルテレビをどう活用していくかということで、内容的に非常に合致する部分がございましたので、応募させていただくという流れでございました。

それから、開発した後に関しましては、ソフトを作成いたしまして、市内の小・中学校全校に配付を行わせていただきます。そして、学校の方に、使い方等についてのマニュアル等も配付しまして、必要に応じて、こちらの方からも講師として出向いていって講習を

行うような形で、市内にそのソフトが有効に活用できるような形でやっていきたいと、こう思っています。

◎小林委員 この学習用ソフトの完成というのは、大体いつごろを目安にして、それから、各学校へ出ていくのでしょうか。

○久保総合学習センター担当課長 完成は、短い期間でございますけれども、一応、半年間の研究でございますので、3月には完成予定です。そして、そこまでの中では、推進校をこちらの方で決めさせていただきまして、実際にそのソフトを使って授業を数回やりまして、その中で、ソフトについての検討をしながら見直しをして、最終的に3月の完成というような形になるかと思えます。

◎小林委員 ありがとうございます。期待しております。

◎溝口委員長 ほかに質疑、ご意見等ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 ありませんので、これより採決を行います。

議案第33号、平成22年度相模原市教育委員会の所掌にかかわる予算の補正についてを原案どおり決めるにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎溝口委員長 ご異議ございませんので、議案第33号は可決されました。

□相模原市立図書館協議会委員の人事について

◎溝口委員長 次に、日程2、議案第34号、相模原市立図書館協議会委員の人事についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○大貫生涯学習部長 議案第34号、相模原市立図書館協議会委員の人事について、ご説明申し上げます。

本件は、相模原市立図書館協議会委員の任期が今月28日で満了するため、新たに委員を選任する必要が生じ、図書館法第15条及び相模原市立図書館条例第15条の規定により提案するものでございます。

委員の候補者を個別にご説明申し上げます。

本多久美子氏は、学校教育の関係者でございまして、相模原市立新町中学校の校長でございます。

青木久氏は、社会教育の関係者でございまして、相模原市公民館連絡協議会の委員で、相模原市立陽光台公民館の館長でございます。

吉川恵美氏は、同じく社会教育の関係者でございまして、相模原市社会教育委員会議の委員でございます。

鈴木良雄氏は、学識経験者でございまして、文部科学省「これからの図書館の在り方検討協力者会議」委員でございます。

稲木吉一氏は、同じく学識経験者でございまして、現在、女子美術大学教授で、女子美術大学図書館長でございます。

富永ナル子氏は、市民公募委員でございまして、選出区分は学識経験者になります。

任期につきましては、平成22年8月29日から平成24年8月28日までの2年間でございます。

以上で、議案第34号の説明を終わらせていただきます。よろしくご決定のほど、お願い申し上げます。

◎溝口委員長 説明が終わりました。これより質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

◎金川委員 この委員はこれで全員なのでしょうか。

○成瀬図書館長 全員でございます。これは全員が委嘱替えの人事でございますので、6名となります。

◎金川委員 ここで話し合われていることとか、図書館のいろいろなことというのは続いていくと思うのですが、全員が一遍に取りかわってしまうということで、何か問題は生じないのでしょうか。

○成瀬図書館長 任期が2年ということになっておりまして、今回、ここで委嘱替えということなのですが、お二人の方が継続という形で、引き続きということですので、4名の方は新しくということ。そういった意味からいきますと、従来も継続の方と新たな方という形で、全員が一度にかわるというケースは今までにございませんので、特段、支障というふうなことは感じておりません。

◎金川委員 ありがとうございます。

◎溝口委員長 よろしいですか。

再任は、青木委員とどなたでしたか。

○成瀬図書館長 青木久委員と、それから、吉川恵美委員です。この二人が継続ということ

で、ほかの方は新任という形になります。

◎溝口委員長 ほかに質疑、ご意見等ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 ありませんので、これより採決を行います。

議案第34号、相模原市立図書館協議会委員の人事についてを原案どおり決するにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎溝口委員長 ご異議ございませんので、議案第34号は、可決されました。

□相模原市立博物館協議会委員の人事について

◎溝口委員長 次に、日程3、議案第35号、相模原市立博物館協議会委員の人事についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○大貫生涯学習部長 議案第35号、相模原市立博物館協議会委員の人事について、ご説明申し上げます。

博物館協議会の委員につきましては、博物館法第21条の委員構成に関する規定により、10名を委嘱いたしておりますが、このうち家庭教育の向上に資する活動を行う者として委嘱しておりました格地悦子委員から、平成22年5月に任期途中において辞職の申し出があり、これを承認し、後任の委員について補充いたしたく提案するものでございます。

新たに委嘱いたします井上博美氏につきましては、社会教育委員、青少年指導員、公民館運営協議会委員を歴任され、相模原市女性学習グループ連絡協議会からご推薦いただき、委嘱するものでございます。

なお、任期につきましては、平成22年8月24日から、前任者の残任期間である平成23年11月19日までとするものでございます。

以上で、議案第35号のご説明を終わらせていただきます。よろしくご承認くださいますよう、お願い申し上げます。

◎溝口委員長 ただいま、説明が終わりました。これより質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 ありませんので、これより採決を行います。

議案第35号、相模原市立博物館協議会委員の人事についてを原案どおり決するに、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎溝口委員長 ご異議ございませんので、議案第35号は可決されました。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

次に、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 では、最後に、次回の会議予定日でございますが、9月15日水曜日、午後3時から教育委員会室で開催する予定でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

◎溝口委員長 それでは、次回の会議は9月15日水曜日、午後3時の開催予定といたします。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

これをもちまして、定例会を閉会いたします。

□閉 会

午後2時23分 閉会